

ECU（エディスコーワン大学）への交換留学生 特派員レポート Vol.14

今回は、都市生活学部の一ノ宮さんからレポートを頂きました。オーストラリアと日本の物価の違いをレポートしていただきました。ペットボトルの水が3ドルもするそうです。オーストラリアの物価は高いのでしょうか？一ノ宮さんのレポートを拝見してみましょう！

ミッドセミスターブレイクが始まりを告げるとともに授業も後半にさしかかり期末試験のお知らせが来る時期になりました。

今日、オーストラリアの食べ物飲み物事情について書きたいと思います。TAPで初めてオーストラリアに来た時飲み物の価格の高さに驚きました。日本だとスーパーで大体100円150円。高くて300円くらいだと思います。それがオーストラリアだと600m lの水が安くて3ドルとかな

かいにお値段します。600m lのジュース類も同じ値段です。しかし、1.25Lのペットボトルは、安売りの時だと2ドル以下で買えます。一方、お肉類は、スーパーマーケットによって大分差があるのですが、おおよそ日本の価格の8割程度で買えます。野菜も同じです。でも、ここパースでは、全ての魚介類を西海岸や海外から輸入しているので他に比べると少し高級品に思えます。イカやタコ、エビは中でも高いのですが、バスという名前の魚の切り身は極めて安い。基本的にオーストラリアは消費税が10%と日本より若干高いのですが、半年以上住んでいて感じるのは東京の値段に比べたら少し安い。加えてここパースはオーストラリアで最も物価の高い街と言われていますが、それで東京より安いのはここパースの住みやすさの一つと言えるでしょう。それに外食しても日本と変わらないかもっと安いお店が多いので、あんまり気にせず食べられるのが僕は好きです。

